

広報 えびの

5

広報えびの 5月号

2011.May

No.535

平成23年5月20日発行



「特集」防災のススメ
災害への事前準備 [P2 ~ P11]

テレビに映る国内外の災害の様子を「うわあ、すごいね、こわいね・・・」「ここは、安全だから・・・」と感じながら映像を見てはいませんか。

災害は、他人事ではありませんが、地震や台風、いつ起こるか分からない自然災害。えびの市でも、えびの地震や山津波、平成に入ってから、台風や集中豪雨による水害など自然災害にいくつも直面してきています。また、今年1月26日の新燃岳噴火、3月14日の東日本大震災など自然災害が身近で発生しています。

自然災害は、人間の力ではどうすることもできません。車や建物などを壊すだけではなく、時には、人の命までも奪っていきます。

いつ発生するか分からない自然災害の脅威にたまたまをくわえ、待ってればよいのでしょうか。被害にあつてからのことよりも、被害にあう前の災害の備えが必要ではないでしょうか。災害の備えなど今できること、すべきことを考えていきたいと思います。

旭硝子
販売店

写真：昭和43年2月21日発生のえびの地震

「特集」防災のススム

災害への事前準備

地震



えびの地震では、市内全域で建物の半壊や全半壊など多くの被害を受けました



阪神・淡路大震災（写真提供：消防科学総合センター）



東日本大震災（写真提供：霧島市）



L型金具などで壁に固定する工夫を（消防科学総合センター）

地震が起きる前の事前の準備が大切です

地震の大きさ（震度）にもよりますが、日頃から地震が起きた時のことを考えて、事前の準備をしておいてください。

阪神・淡路大震災では、9割の方が建物の倒壊や物の下敷きで亡くなられています。

建物倒壊は、古い家ほど倒壊の危険性が高まります。耐震診断などを行い自分の家の事を知っておくのも必要です。また、屋内の倒れそうなものには、地震で倒れない工夫などを行ってください。

消防署・警察署は、大規模の震災後では、全ての方の要請に対応できなくなります。そうすると互助の助け合いや地域とのつながりが大切になってきます。

職場や地域での地震が起きた時の避難対策や初期消火の対策などの話し合いも必要です。また、職場や地域で話し合った事を家庭に持ち帰り、家族単位での地震の対応などを話し合ってください。

地震が起きてからでは、準備ができません。地震が起きる前の準備が大切です。



えびの消防署
署長 前原幸太郎さん

昭和43年2月21日に起きたえびの地震（マグニチュード6・1）では、市内全域で家屋の全半壊やがけ崩れ、山崩れが発生。この地震で鉄道、道路、橋、河川などは、大きな被害を受けました。

宮崎県がまとめた「えびの地震」の被害は、負傷者35人、り災世帯3477世帯、り災者1万3639人、住家全壊451戸、半壊896戸、一部損壊3597戸、鉄道被害3か所、耕地の埋没53・7ヘクタール、林地の崩壊74・36ヘクタールなど甚大な被害を受けています。今年、3月11日には、三陸沖を震源とするマグニチュード9・0の地震が東日本を襲い、東北地方を中心として甚大な被害をもたらしています。

えびの地震発生から43年経ちます。今年3月に発生した東日本大震災と同じような規模の地震が、宮崎県やえびの市でいつ発生するか分かりません。

もし、発生した時、被害を最小限に抑えるためにも、日頃からのいざという時の準備が大切です。

【地震への事前の準備を】

地震が発生した時、被害を最小限に抑えるためには、一人ひとりが慌てずに適切な行動をすることが極めて重要です。そのためにも、市民の皆さんが地

ので注意しましょう。

【火災を防ぐ】

揺れが収まったら、使用中のガス器具、電化製品、石油ストーブなどはすぐに消してください。もしも、火が出たら、慌てずボヤのうちに消し止めます。

【速やかな避難を】

非難は、徒歩が原則です。車は渋滞を引き起こし、救援活動などの妨げになります。自宅を離れるときは、電気のブレーカーを切りガス栓を閉めてください。地震で川べりや建物

震に関心を持ち、いざという時に落ち着いて行動できる心構えと準備が必要です。

【倒れるものには工夫を】

平成7年に起きた阪神・淡路大震災の被害では、家屋内でのけがの原因の約75%が、家具などの転倒落下や割れたガラスによるものでした。建物が無事でも、家具などが転倒すると、下敷きになって命を落としたり、けがをしたり、避難経路をふさいだらします。

タンスや棚は、L型金具などで壁の棧や柱に固定すること、適切な配置を心がけてください。

引き出しや食器棚の扉にはストッパーなどを取りつけ、中身が飛び出さないようにしておきましょう。

扉のガラスや窓ガラスは、ガラス飛散防止フィルムをはっておきましょう。

【地震が起きたら】

慌てて行動すると転倒した家具や飛散したガラスの破片などでけがをする恐れがあります。まずは、周辺を確認。身の安全を確保してください。机やテーブルの下に身を隠し、頭部を座布団などで保護してください。ドアや窓を開けて避難経路を確保するのも大切です。揺れが収まった後、慌てて外へ飛び出すと瓦や外壁などが落ちてくる場合があります

がくずれやすくなっている場合があるりますので、近寄らないでください。速やかにお近くの避難所へ避難してください。（11ページ参照）

【家族での話し合いを】

大地震の際、慌てずに行動できるように、普段から家族と話し合っておきましょう。例えば、家の中でどこが安全か、避難路や最終的な避難場所の確認などです。また、昼と夜では職場や学校など、家族がばらばらになっている場合があります。確実に連絡し合える方法を決めておきましょう。

風水害



平成 18 年 7 月の集中豪雨では、京町地区で冠水したほか多くの被害を受けました



昭和 47 年 7 月 6 日、真幸山津波の被害を受けた真幸駅



平成 5 年 8 月 6 日の集中豪雨で倒壊した湯田橋



真幸橋下にある真幸観測所

正確な防災情報を理解し、迅速な避難行動を

川には、水位の高さに応じた危険度のレベルがあります。川内川の水位の危険度のレベルは、真幸橋下にある真幸観測所が基準となっています。その基準は5段階に分かれており、①水防団待機水位、②はん濫注意水位、③避難判断水位、④はん濫危険水位、⑤はん濫の発生の順に高くなっています。この水位がテレビ、ラジオや市の防災無線放送での避難情報などに使われます。

平成 18 年 7 月に発生した集中豪雨以来、えびの市内では、深刻な水害などは発生していませんが、いつ大規模な水害に見舞われるかわかりません。このような事態から自分の命・家族・財産を守るためにも正確な防災情報を理解し、迅速な避難行動に結びつけることが重要です。また、避難途中に流されて命を落とした事故も発生しています。そうならないためにも、日頃からの避難経路の確認や避難のタイミングなど、近隣の方とのコミュニケーションも重要です。



川内川河川事務所
京町出張所
所長 与那嶺 淳さん

■避難情報

種別	拘束力
避難準備情報	事態の推移によっては、避難勧告、避難指示を行うことが予定されます。避難のための準備を呼び掛けるものです。
避難勧告	居住者に立ち退きを勧め促すものです。(避難を強制するものではありません)
避難指示	被害の危険が切迫した時に発せられます。「避難勧告」より拘束力が強くなります。指示に従わなかった方に対して、直接強制までは行われません。

- ・斜面から水が吹き出す
- ・がけにひびが入る
- ・小石がパラパラ落ちてくる
- 【がけ崩れ】
- ・がけからの水がにこる
- ・がけにひびが入る
- ・小石がパラパラ落ちてくる

【土砂災害の前兆現象に注意しましょう】

【土石流】

- ・山鳴りがする
- ・雨が降り続けているのに川の水位が下がる
- ・川の流れがにごり、流木が混ざりはじめる
- 【地すべり】
- ・地面にひび割れができる
- ・沢や井戸の水がにごる

【正確な情報を確認する】

お持ちの携帯電話、パソコンから見たい時に、河川の状況を確認することができます。

【携帯電話での確認】

川内川河川事務所防災情報
(<http://www.qsr.mlit.go.jp/sendai/bousai/keita/index.htm>)

【パソコンでの確認】

川内川河川事務所防災情報
(<http://www.qsr.mlit.go.jp/sendai/bousai/>)

【風水害に備えましょう】

風水害から身を守るため、大雨や台風など気象の変化に日頃から関心を持ち、事前に避難場所や避難経路を確認しましょう。

大雨が原因のがけ崩れ、土石流、地すべりなどの土砂災害は一瞬で人の命を奪うことがあります。土砂災害が発生する恐れがある場所は、いつ災害が起きるかわかりません。そのため、土砂災害情報にも注意を払ってください。

土砂災害警戒情報は、都道府県と気象庁が共同で発表する防災情報です。

【早めの「自主避難」を】

災害時の避難情報は3段階に分かれて発令されます。避難するための準備を促す「避難準備情報」、避難を促す「避難勧告」、さらに状況が悪化し、避難すべき時期が切迫した場合の「避難指示」です。

避難情報は、テレビやラジオはもちろんのこと、防災無線放送や広報車等でもお知らせしますが、避難勧告や避難指示等の避難情報が出ていなくても、危険を感じた場合は速やかに自主避難をしてください。

噴火



1月26日、新燃岳が本格的なマグマ噴火をしました（韓国岳から2月6日撮影）



降灰で被害を受けた作物（場所：野尻町、写真提供：小林市）



噴石の被害を受けた乗用車（写真提供：小林市）



噴石・火山灰対策で防災ヘルメットを付けて登校する児童

火山灰や噴石への事前の準備をお願いします

新燃岳火口から概ね3キロの範囲では、噴火に伴う噴石に注意する必要があります。

夏場にかけて霧島山上空の風向きが南風になる恐れがあります。南風になると火山灰や噴石が風に流され、えびの市内に被害を及ぼす可能性があります。

火口の風下側では、直径6センチ程度の噴石が火口から5キロから10キロの範囲で飛んだ例もあります。

火山灰や噴石に対しての事前の準備、対策をお願いします。

また、新燃岳が爆発的噴火を起こした場合、大きな空振が発生する可能性があります。カーテンを閉め、窓ガラスにテープをはるなどの空振への備えをお願いします。

今後も引き続き、噴火警報や霧島山上空の風情報に注意してください。

新燃岳は今現在も活動が続いています。被害が発生してから準備するのではなく、事前の準備と心構えをお願いします。



えびの市総務課
課長 上加世田章人

■降灰時の火山灰の処理方法

家庭敷地内で集めた火山灰は次のように処理します。

①ゴミ袋などを使用する場合

搬入場所は、各地区のゴミステーションを目印として市が指定する場所（隣接地）となります。

各地区で集めた火山灰は、市が収集し、処分場所（市有地）へ運びます。

※火山灰は、他の家庭ゴミと混ざらないようにして、市の指定ゴミ袋か、レジ袋などにいれて搬入場所に出してください。

②幹線道路の火山灰を処理する場合

市内の幹線道路に降った火山灰は、市などが収集し、処分場所へ搬入します。

【お問い合わせ】

えびの市美化センター

☎ 33 - 5782

えびの市総務課防災対策係

☎ 35 - 1111（内線 316）

【注意！噴石・火山灰】

平成23年1月26日から霧島山（新燃岳）では、本格的なマグマ噴火で、多量の火山灰や噴石などを放出する火山活動が続いています。火山活動は、最盛期の活動に比べ低下した状態で推移しています。しかし、新燃岳から北西数キロの地下深くのマグマだまりへのマグマの供給は続いています。また、マグマだまりから新燃岳へのマグマの上昇は継続的に続いていると推定されることから、噴火活動は、今後も続くと考えられます。

引き続き、新燃岳付近では、噴火に伴う噴石や火砕流に警戒が必要です。新燃岳の風下側では、降灰や遠方でも風に流されてくる噴石にも注意が必要です。

霧島山上空の風によつては、えびの市内に降灰する恐れがあります。霧島山上空の風情報に注意してください。

新燃岳のこれまでの噴火では、十数キロ離れた所にも噴石が到達しています。風下側の地域は注意する必要があります。

2月14日の噴火時には、火口から北東約8〜16キロの小林市内に1〜3センチ程度の噴石が落下し、ガラスやソーラーパネルの破損などの被害が発生しました。火山灰はとても小さいので、空気

【噴石から身を守る】

・自分のいる場所が火口からどれぐらいの距離かを知っておきましょう。

・噴火に気づいた時は屋外に出ないようにしてください。

・風下側で噴火に気づいた時は、屋内や頑丈な屋根のあるものに陰に移動してください。

【火山灰から身を守る】

・日頃から噴火情報と風向き情報を集めておきましょう。えびの市内では、南風・南東の風の時に注意が必要です。

・火山灰が目に入ったら、手でこすらず水で流してください。コンタクトの方は、できるだけ眼鏡を使うようにしてください。

・火山灰が降ると見通しが悪くなります。また、ブレーキがききにくくなります。交通事故に気を付けてください。

各災害時の避難場所

■風水害(豪雨)時の屋内避難所

地区	避難場所	電話番号
飯野地区	飯野中学校体育館	33 - 0021
	飯野小学校体育館	33 - 0008
	大河平小学校体育館	33 - 0970
	高野畜産管理センター	33 - 0872
	えびの市民体育館	33 - 5322
	飯野駅前地区体育館	33 - 5035
	えびの市文化センター	35 - 2268
飯野地区公民館	33 - 0030	
上江地区	上江中学校体育館	33 - 0315
	上江小学校体育館	33 - 0133
	上江地区体育館	33 - 5799
加久藤地区	加久藤中学校体育館	35 - 1353
	加久藤小学校体育館	35 - 1351
	加久藤小学校尾八重野分校体育館	35 - 1995
	加久藤地区体育館	35 - 2290
	えびの市国際交流センター	35 - 3211
真幸地区	岡元小学校体育館	37 - 2240
	真幸地区体育館	37 - 0004
	旧真幸小学校西内豎分校	
	真幸地区公民館	37 - 3221
老人福祉センター	37 - 1329	

■地震時の屋外避難所

地区	避難場所
飯野地区	飯野中学校グラウンド
	飯野小学校グラウンド
	大河平小学校グラウンド
	高野畜産管理センター広場
	飯野駅前地区体育館駐車場
	神社原運動公園
上江地区	上江中学校グラウンド
	上江小学校グラウンド
	旧上江小学校霧島分校グラウンド
	上江地区体育館駐車場
加久藤地区	加久藤中学校グラウンド
	加久藤小学校グラウンド
	加久藤小学校尾八重野分校グラウンド
	えびの市国際交流センター駐車場
	永山運動公園
	加久藤地区体育館駐車場
真幸地区	真幸中学校グラウンド
	真幸小学校グラウンド
	岡元小学校グラウンド
	旧真幸小学校西内豎分校グラウンド
	王子原運動公園
	真幸地区体育館駐車場

■災害に備え、非常持出品の準備を

「非常持出品」は、災害発生時に持ち出すべきもの「第1次持出品」と、災害復旧までの数日間（最低3日分）に必要な「第2次持出品」に分類することができます。水道、電気、ガスなど全てのライフラインが止まった場合を想定して自分にあった重さのものを準備しましょう。

非常用持出品(例)

印鑑、現金、救急箱、預金通帳、懐中電灯、ライター、缶切り、ろうそく、ナイフ、衣類、手袋、インスタントラーメン、毛布、ラジオ、食品など



■火山噴火(新燃岳)時の屋内避難所

地区	避難場所	電話番号
飯野地区	えびの市民体育館	33 - 5322
	飯野駅前地区体育館	33 - 5035
	飯野地区公民館	33 - 0030
上江地区	上江地区体育館	33 - 5799
加久藤地区	加久藤地区体育館	35 - 2290
	えびの市文化センター	35 - 2268
真幸地区	えびの市国際交流センター	35 - 3211
	真幸地区体育館	37 - 0004
	老人福祉センター	37 - 1329

■お問い合わせ先

市総務課防災対策係
☎ 35 - 1111 (内線 316)



上大河平地区では、日頃から防災訓練などを行っています

自分たちの地域は、自分たちで守る

上大河平地区は、自然水利が少なく火災が発生した時は大変です。日頃から分区分の代表を集めて、初期消火を行うための机上訓練や年数回の区民総出の防災(火災)訓練をやっています。繰り返し行うことでいざという時に備えています。

地区の方も自分たちの地区は自分たちで守るんだと一人ひとりの意識も高いです。災害が発生した時は、日頃の訓練を生かして、区全体で対応していきたいです。



上大河平区
自主防災会会長
木下幸夫さん

【今できる災害対策を】
普段、何気に使っている水道・電気・ガスなどが使えなくなるのが大災害です。大地震が発生すると同時に火災が発生します。
大災害の場合、消防や救急もすぐの現場に対応することができなくなり、緊急車両は現場へ到達できず、到達できたとしても断水により消火活動ができなかったり、全ての人を救助することができない状況が想定されます。
そのような中、頼みの綱は、自主防災組織や近所の助け合いによる救助や初期消火ではないでしょうか。
実際に阪神・淡路大震災では、倒れた家屋から約6割の人が「近所の

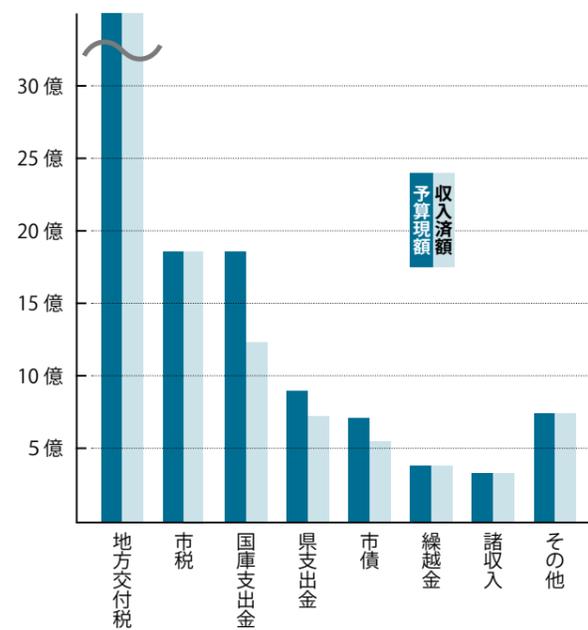
人」によって救出されています。まずは、落ち着いて自分の身を守ってください。自分が死んでしまえば、愛する家族や周りの人を助ける事などできません。また、自分の家を守りたいのなら地域を守ってください。災害時、近くで火災が起きれば、自分の家にも火の手はやって来ます。これらの被害を最小限に食い止めるには、日頃からの近所とのつながりや協力体制が必要ではないでしょうか。
地震・台風・噴火などを防ぐことなどできません。対策は、災害が発生してからでは遅すぎます。災害が発生していない今、私たちにできる災害対策があるのではないのでしょうか。

えびの市の財政状況を お知らせします

えびの市の財政状況は、毎年5月と11月に公表しています。
税金や国・県からの交付金などをどれくらい収入し、どのように使ったのか、
平成23年3月31日現在の予算の収入と支出の状況について公表します。

◎一般会計歳入

	一般会計歳入		収入率
	予算現額	収入済額	
地方交付税	49億3,941万円	49億3,941万円	100.0%
市税	18億2,206万円	18億4,981万円	101.5%
国庫支出金	18億675万円	12億3,579万円	68.4%
県支出金	9億638万円	7億2,123万円	79.6%
市債	7億4,367万円	5億1,777万円	69.6%
繰越金	4億806万円	4億806万円	100.0%
諸収入	3億776万円	3億216万円	98.2%
その他	7億8,722万円	7億7,614万円	98.6%
合計	117億2,131万円	107億5,037万円	91.7%



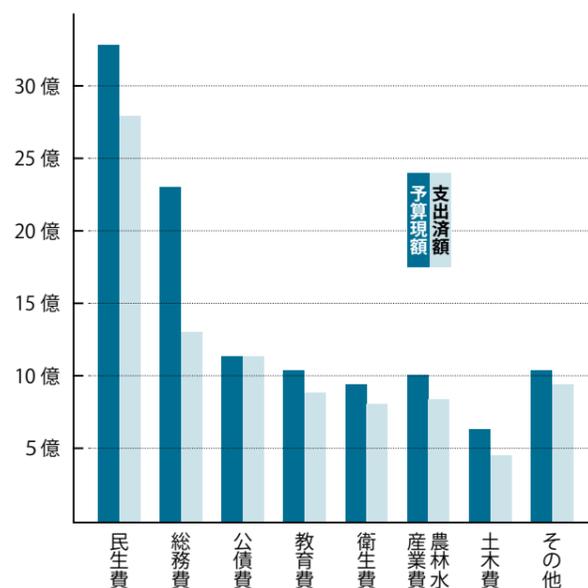
用語説明
 地方交付税・・・地方税などの自主財源では財源の足りない地方自治体に対して国が交付するお金
 市税・・・市民の皆さんに納めていただいた市民税や固定資産税などの税金
 国庫支出金・・・国から市に支出される補助金や委託金など
 県支出金・・・県から市に支出される補助金や委託金など
 市債・・・市がさまざまな事業を行う時、長期に渡って借りたお金
 繰越金・・・前年度から繰り越されたお金
 諸収入・・・市の預金利子や各種貸付金の元利収入
 その他・・・財産収入や使用料および手数料、寄附金、国からの各種交付金など

歳入

平成23年3月31日現在の収入の状況は、予算総額117億2,130万7,220円（うち平成21年度からの繰越額6億7,115万2,200円）に対して、収入済額107億5,036万7,581円で、収入率91.7%です。収入のうち最も多いのは、地方交付税で、次に市税、国庫支出金、県支出金などとなっています。市債等の収入率の低いものは、5月末までに収入の見込みとなっています。

◎一般会計歳出

	一般会計歳出		支出率
	予算現額	支出済額	
民生費	35億4,933万円	27億8,620万円	78.5%
総務費	23億5,162万円	13億4,195万円	57.1%
公債費	11億5,833万円	11億5,833万円	100.0%
教育費	10億1,992万円	8億5,499万円	83.8%
衛生費	9億3,478万円	7億4,766万円	80.0%
農林水産業費	10億1,003万円	8億608万円	79.8%
土木費	6億5,686万円	4億8,267万円	73.5%
その他	10億4,044万円	9億2,656万円	89.1%
合計	117億2,131万円	91億444万円	77.7%



用語説明
 民生費・・・子どもや高齢者、体の不自由な方のために使われる経費
 総務費・・・行政運営のために使われる経費
 公債費・・・えびの市の借入金の返済のために使われる経費
 教育費・・・学校、公民館、体育施設などの整備や、教育の振興のために使われる経費
 衛生費・・・ごみ、し尿の処理や、市民の皆さんの健康を守るために使われる経費
 農林水産業費・・・農業、畜産の振興と育成のために使われる経費
 土木費・・・道路建設や公園の整備などに使われる経費
 その他・・・市議会の運営や、商工の振興、防災活動などに使われる経費

歳出

平成23年3月31日現在の支出の状況は、予算総額117億2,130万7,220円（うち平成21年度からの繰越額6億7,115万2,200円）に対して、支出済額91億4,442万2,822円で、支出率77.7%です。支出のうち最も多いのは、民生費で、次に総務費、公債費、教育費となっています。支出率の低いものは、5月末までに支出の見込みとなっています。

◎特別会計の状況

【単位：千円】

会計名	歳入		歳出	
	予算額	収入済額	予算額	支出済額
国民健康保険特別会計	3,665,607	2,972,581	3,665,607	3,129,386
老人保健特別会計	5,204	4,676	5,204	4,676
後期高齢者医療特別会計	558,358	454,528	558,358	548,246
介護保険特別会計	2,767,146	2,433,094	2,767,146	2,459,039
観光特別会計	46,599	28,177	46,599	30,674
合計	7,042,914	5,893,056	7,042,914	6,172,021

◎市債残高と一時借入金の状況

平成23年3月31日現在の市債（市が資金調達のために負担する債務であって、その返済が一会計年度を越えて行われるもの）の現在高は、次のとおりです。なお、平成22年度の一時借入金はありません。

【単位：千円】

区分	現在高
一般会計	7,219,981
水道事業会計	865,533
病院事業会計	46,198
一時借入金	0

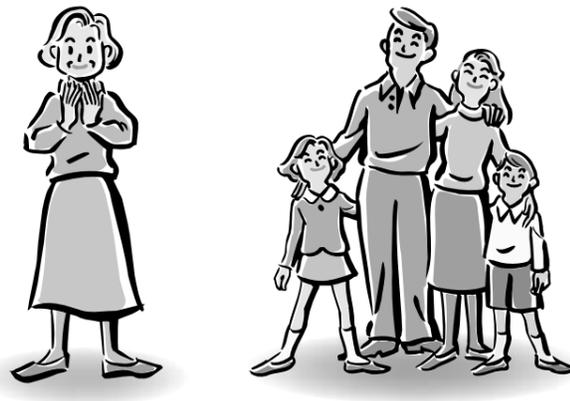
◎住民負担の状況

平成23年3月31日現在の市民の負担は、次のとおりです。個人市民税の収入済額は、5億840万5,466円で、これを市民一人あたり（平成23年3月31日現在住民基本台帳人口22,093人）にすると、約2万3,012円となります。

一世帯あたり（平成23年3月31日現在住民基本台帳世帯数10,063世帯）では、約5万522円となります。

市民一人あたり
23,012円

一世帯あたり
50,522円



■お問い合わせ先
市財政課財政係
☎ 35 - 1111 (内線 381・382)

東日本大震災支援物資・義援金 被災地へ向け支援物資が送られました

支援物資受け入れ状況

品目	箱数
保存食 (バックごはん)	1箱 (36食)
水以外の飲料 (野菜果物ジュースなど)	6箱 (お茶2箱、イオン飲料1箱、天然水1箱、日向夏ドリンク1箱、野菜ジュース1箱)
使い捨て食器 (紙コップ、紙皿、スプーン、割りばしなど)	3箱 (紙コップ350個、紙皿165枚、割りばし5,300膳、アルミ皿662枚)
生理用品	4箱 (70袋)
紙おむつ (乳児用)	2箱 (14袋)
紙おむつ (高齢者用)	5箱 (23袋)
尿失禁パッド	2箱 (15袋)
タオル	5箱 (690枚)
無洗米	7箱 (5キロ×36袋)

義援金受け入れ状況 (5月6日現在)

(単位: 円)

区分	義援金
一般	997,867
企業・団体	5,013,741
各地区 (区・分区)	6,735,987
計	12,747,595

市では、東日本大震災
方々に対する支援物資の受
け付けを、3月26日から4
月15日まで行いました。た
くさんのご支援ありがとうございました。
支援物資の受け付けでは、市内のボラ
ンティア延べ80人にご協力を
いただきました。
いただいた支援物資は、
4月21日に被災地に向けて
発送しました。
また、東日本大震災の義
援金も、多くの皆さんから
いただきました。いただいた
義援金は、日本赤十字社



被災地に向けて物資を送りました

から被災地へ届けられま
す。
支援物資の受け付けは、
4月15日をもっていったん
終了しましたが、義援金は
引き続き、市や社会福祉協
議会で受け付けています。

節水にご協力を 水は大切な資源。上手に水を使いましょう



水は大切な資源です。節水にご協力をお願いします

今年
水量が非常に少なく、
県内では、5月9日時点で
6つの河川・7つのダムで
枯渇や残水量不足が深刻化
し、農業用水や生活用水に
支障が出ています。
市上水道水源の水量(5
月12日現在)は、余裕のあ
る状況ですが、このまま少
雨が続けば渇水となること
も予測されます。水は大切
な資源です。節水にご協力
をお願いします。
■上手な水の使い方(例)
【残り湯は捨てずに再利用】
残り湯は捨てずに、洗濯、

洗車、植木の散水などに使
用しましょう。また、断水
時はトイレの水洗にも利用
できます。
【水はこまめに止めよう】
蛇口をこまめに止めるよ
うにすれば、1世帯で年間
約7万5000リットルの水が
節約できます。
【歯みがきに工夫を】
歯みがきの時に水を流
しっぱなしにすると、30秒
で約6リットルも水を流し
ていきます。3杯(約
0・6リットル)程度の水で済
み、5リットルも節約できま
す。

えびの市心のふるさと寄付金寄付状況 温かいご支援ありがとうございます

えびの市の心のふるさと寄
付金は、「えびのの豊かな
自然環境や魅力ある伝統文
化などの地域資源を次世代
に引き継ぐとともに、ふる
さとへの思いやえびのの発
展を願う人々の思いを、寄
付を通じて、多様な人々の
参画によるふるさとづくり
を推進すること」を目的と
しています。
市では、市の将来像であ
る「人と自然がほつと見え
びの・活力、ぬくもり、癒
しのまち」の実現に向け、
厳しい財政状況を克服しな
がら、市民と一丸となって

事業別寄付件数と寄付金額

事業の種類	寄付件数	寄付金額
(1) 地域福祉の充実などに関する事業	12件	949,000円
(2) 自然環境の保全などに関する事業	2件	150,000円
(3) 伝統文化の保存などに関する事業	1件	10,000円
(4) その他市長が必要と認める事業 (うち、口蹄疫に関する施策)	42件 (23件)	5,258,290円 (1,623,290円)
合計	57件	6,367,290円

えびの市心のふるさと基金積立状況

区分	平成22年度末残高	平成21年度末残高
積立金	9,729,000円	5,985,000円

基金からの平成22年度事業への繰入れ状況

- ◎口蹄疫対策事業 2,538,290円
- ◎口蹄疫復興イベント 85,000円

寄付者一覧 (敬称略・日付順)

氏名	住所	寄付金額	氏名	住所	寄付金額
大后 義雄	埼玉県さいたま市	***	匿名	埼玉県戸田市	***
伊堂寺 憲仁	*****	***	匿名	宮崎県宮崎市	***
種村 エイ子	鹿児島県鹿児島市	***	谷口動物病院 谷口 馨	宮崎県小林市	1,000,000
東海えびの会 会員一同	*****	***	金山 峰子	愛知県西尾市	50,000
福元 國雄、福元 和子	*****	***	松本 繁美	*****	***
岩屋 豊秋	神奈川県厚木市	***	匿名	東京都杉並区	***
相徳 憲一	千葉県柏市	***	出水 国雄	神奈川県横浜市	5,000
磯脇 ちら子	愛知県みよし市	10,000	匿名	千葉県市原市	20,000
菱刈 正春	愛知県西尾市	30,000	山岸 利信	埼玉県児玉郡神川町	10,000
竹下 幸男	*****	***	岩本 一男	愛知県愛知郡長久手町	250,000
日本農産工業株式会社 (ファームテック)	神奈川県横浜市	500,000	稲城市役所 理事者部長会・課長会 (全国青年市長会災害相互応援市)	東京都稲城市	50,000
岩本 恵子	愛知県愛知郡長久手町	50,000	矢場 浩子	神奈川県川崎市	69,000
富田 五郎	東京都足立区	20,000	匿名	東京都	30,000
吉村 真治	千葉県松戸市	50,000	吉村 幸子	千葉県松戸市	50,000
黒江 穂積、黒江 ミエ子	*****	***	西井 龍一	滋賀県守山市	150,000
嶋名 國夫	愛知県安城市	30,000	富満 忠晴	愛知県愛知郡長久手町	100,000
荒武 賢治	東京都練馬区	***	田中 純男	東京都青梅市	***
加治佐 健二	愛知県稲沢市	1,500,000	加世堂 孝始	大阪府堺市	10,000

※公表については、了解をいただいた方のみ掲載しています。住所、寄付金額の「***」は非公表です。

がんばる! 公民館

輪太鼓踊りの里

(西上江自治公民館)

西上江地区は、保育園、小学校、中学校を区内に有し、明るく温かい4分区、82戸の集落です。南にえびの高原を望み、秋のシーズンとなれば、勇壮の音に響き渡る西上江地区。輪太鼓踊り保存会の指導で、子どもたちが運動会で踊る輪太鼓踊りの練習です。子どもたちによる運動会での輪太鼓踊りは20数年以上の



西上江地区輪太鼓踊り

◎自公連だより

※自公連・・・「自治公民館連絡協議会」の略称。

歴史があり、今では、なくてはならない行事となっていてます。先代から受け継がれてきた郷土の文化を絶やさないとして復活して30年以上。えびの市の無形民俗文化財となっています。青壮年部の行事の一環としてコスモスの植栽があります。30年以上の歴史があり、西上江区の中心部の農道約1キロにコスモスを植栽しています。秋になれば市内外の多くの見物客が訪れます。実った稲とコスモスのコントラストは最高に美しい光景です。毎年11月23日、青壮年部主催による「ほぜ祭り」。老人から子どもまでゲームやカラオケ、抽選会などを行います。年に1度の楽しい行事です。来て見て最高、住んで最高のそんな西上江に来てみませんか。



西上江自治公民館長
内村松男さん



大川原峽

今月は、曾於市の「大川原峽」と「白鹿岳」を紹介します。大川原峽 大隅大川原駅から下流部3キロにわたる大川原峽は、大川原峽キャンプ場をはじめ、悠久の森、曾於八景の一つである桐原の滝や三連轟の滝など自然に恵まれた地域です。大川原峽には、約34万年前におきた加久藤火砕流によりできた溶結凝灰岩が、自然に洗掘されたことによる大小の滝と「甌穴」があり、造形美が見られます。また、水遊びや魚釣りができる穴場もたくさんあり、貴重な自然体験ができます。



白鹿岳森林公園

曾於市には曾於郡で一番高い白鹿岳があります。この白鹿岳の麓から有名な百武彗星が発見されました。白鹿岳は、北には霧島山、南西には桜島と錦江湾、鹿児島市が一望できます。平成12年度から平成13年度にかけて、展望台、天体観測デッキなどを設置した白鹿岳森林公園を整備しました。大パノラマが望めることから来場者も多く、今後の利活用が期待されます。

【問い合わせ】
曾於市財部支所産業振興課
☎ 72・0938

ジオパーク発掘調査隊

その20

案内板、案内窓口設置 市役所が利用しやすくなりました



市民課案内窓口

市役所本庁の2階正面玄関入口横に、案内板(回転式)を新たに設置しました。また、各階通路壁面にも、新しい案内板を設置しました。案内板には、各階の課の場所と番号が表記されています。案内板の課の色と課の場所にある案内板の色を同じにすることで、課の場所を分かりやすくしてあります。



2階正面玄関の案内板

関係課まで案内をします。お気軽にお尋ねください。1階守衛室前(庁舎東側)には、障害者やマタニティ用の駐車スペースも確保しています。こちらも、お気軽にご利用ください。

関西地区からえびの市を応援 ふるさと応援団「関西えびの会」発足



発会式には、関西のえびの市出身者や関係者約240人が参加しました

関西えびの会が、4月24日発足しました。宮崎県九市のうち、関西地区に同郷会(関東えびの会など、市単位での出身者会)がないのはえびの市だけでした。このため、近畿宮崎県人会の場でも「えびの会を作らないといけません」という声が毎年あがっていました。

この協力とフェアの成功が「関西えびの会」発足のきっかけとなりました。昨年末に、えびの市出身者17人で関西えびの会発足の準備会を立ち上げ、4月24日、関西えびの会が誕生しました。同会は、会員相互の親しくとえびの市の発展に寄与することを目的としています。

【会員数】268人
※4月24日現在
【会長】落合 力
【幹事長】家吉重昭
【事務局長】山崎慶次



登校中の子どもたちを見守る木原さん

木原政雄さん

子どもたちの笑顔を守っていきたい

Masao kihara
きはら・まさお / 85歳 / 上浦区 / 趣味：
小菜園での野菜づくり。取れた野菜を
おいしく食べる事。

「子どもたちの笑顔を見るのが毎日楽しみです」と話すのは、ボランティアで岡元小学校の子どもたちの見守りをしている木原政雄さん（上浦区）です。
木原さんは、昭和58年に刑務官を退職。長年の功績に対し、平成8年に瑞宝章を受章

されました。叙勲を受けた時「地域に何か貢献できないか考えた」と木原さん。
「地域の子どもは、地域で育てたい。子どもたちの安全を守らないといけない」と思い、13年前から見守りを始めました」
木原さんは、雨の日も風の

日も家の前に立ち、子どもたちを見守ります。「見守りを始めた時は子どもたちは、なかなかあいさつを返してくれませんでした。毎日あいさつをするうちに子どもたちも徐々に打ち解けて、あいさつを返してくれるようになりました」と当時を振り返ります。

現在、木原さんの家の前を4人の子どもたちが通学してきます。今では、子どもたちの方から「木原のおじちゃん、おはようございます」とあいさつしてくるそうです。
85歳でも若々しい木原さん。「子どもたちの笑顔を見るのが今は生きがいで、生活

の一部になっています。見守りをしながら、逆に子どもたちから元気をもらっています」
「子どもの数は減ってきていますが、地域のため、子どもたちのために元気があるかぎり見守り続けていきたいです」と話していました。



えびの産の食材を使ったおいしい料理

◎今月一品 (カラフル牛丼)

レシピ

【材料】(4人分)

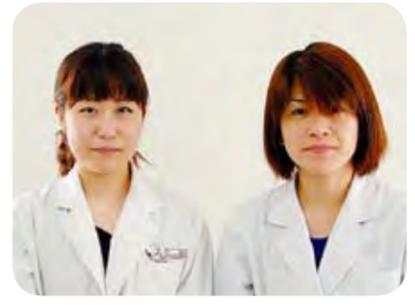
- 米.....400g
- 麦.....5g
- サラダ油.....小さじ1
- おろしショウガ.....小さじ1/2
- おろしニンニク.....小さじ1/2
- 牛肉スライス.....210g
- 酒.....小さじ2
- 玉ネギ(スライス).....100g
- ニンジン(千切り).....50g
- 竹の子(短冊).....40g
- レトルトシイタケ(スライス).....25g
- 青豆.....20g
- カラーピーマン(スライス).....15g
- 三温糖.....8g
- 塩.....調整
- 濃口しょうゆ.....大さじ2
- みりん.....小さじ1
- オイスターソース.....小さじ1弱
- ゴマ油.....小さじ1/2
- 水.....調整

【作り方】

- ①牛肉は、酒に漬けておく。
- ②鍋に油を熱し、ショウガとニンニクをいため、香りが出たら①を入れためる
- ③牛肉の色が変わったら、玉ネギから順にいためる。
- ④野菜がしんなりしたら味つけをする。
- ⑤最後に風味づけのゴマ油を入れる。

recipe

今月紹介するのは、「元気！えびのっ子ふるさと給食」メニューの「カラフル牛丼」です。
「元気！えびのっ子ふるさと給食」は、えびの産の牛肉を使った料理を子どもたちに食べてもらうことで、**口腔疫発生**で多くの被害を受けたえびの市の復興を願うとともに、食育の推進を図る目的で行われました。
料理のポイントは、最後に風味づけのゴマ油を入れることです。



【紹介者】 えびの市給食センター
宇田津智子さん 戸高ゆう子さん

えびのののの つまかもん

「えびののうまいもの」

vol.37



京町温泉郷を快走

4月24日、京町温泉郷で、第25回えびの京町温泉マラソン大会が行われました。大会には、市内外から約1300人の選手が参加。選手たちは、春の暖かい日差しの中、えびのの自然を満喫しながら走っていました。

大会は、真幸地区体育館前をスタート、ゴールとする3キロ、5キロ、10キロのコースで競技が行われました。

宮崎市から親子で参加の松下飛海さん(8歳)は「えびのの大会に初めて参加しました。思ったより疲れましたが、お父さんに勝てました」と話していました。



各選手、完走目指して走っていました

竹の子狩りフェア

4月17日、上大河平地区の大河平小学校(休校中)を会場に、第17回竹の子狩りフェアが行われました。フェアには、市内外から約600人が来場。上大河平地区の広大な竹林で竹の子狩りなどを楽しんでいました。

会場では、竹の子狩りのほか、そばだご汁の振る舞い、農産物や加工品の販売などが行われました。来場者は、そばだご汁をおいしそうに食べていました。

小林市から参加の梶田安雄さんは「毎年参加しています。孫と一緒に来るのが楽しみです」と話していました。



参加者は、思い思いの場所で竹の子を掘っていました

おこびらつじ祭り

4月24日、上大河平区の大河平小学校(休校中)で、第1回おこびらつじ祭りが行われました。祭りには、上大河平地区の内外から約170人が参加。体育館で行われた式典で、祝舞など余興を楽しんでいました。

この祭りは、上大河平地区の宝である大河平つじを地区民で守り育てたいという思いから、大河平つじ保存会の主催で行われたものです。

この日は、大河平小学校のつじを保護するための石垣が整備されたことを記念して、記念碑と看板の除幕式も行われました。



大河平つじの由来などの説明が入った看板が設置されました

子どもの安全のために

4月18日、市内小中学校児童生徒1548人に防災ヘルメットが貸与されました。

この貸与は、市教育委員会が、新燃岳の噴火に伴う火山灰、噴石などから児童生徒の安全を守るため行ったものです。

同日、加久藤小学校で防災ヘルメットの貸与式が行われました。式では、児童を代表して鶴永鈴子さん(加久藤小6年)が「登下校時に大切に使用してもらいます」とお礼を述べました。

4月19日から児童生徒は、防災ヘルメットを着用して登下校をしています。



防災ヘルメットを付けてもらう児童代表

区長分区長に委嘱状交付

4月26日、市文化センターで平成23年度区長・分区長合同会議が行われました。

会議では、区長代表の井上義人さん(東川北区)と分区長代表の岡園喜一さん(東川北区狩山分区)に市長から委嘱状が交付されました。

今年度、区長・分区長に委嘱されたのは、区長65人、分区長427人です。

会議では、榎田自治公民館長の榎園賢二さんが「存在感を感じる地域をめざして」と題して、自治公民館での活動について事例発表を行いました。



区長・分区長合同会議には400人が参加しました

ガスでおいしい料理を

4月22日、市文化センターに、えびの市エルピーガス事業組合からガス機器が寄贈されました。寄贈式には、えびの市エルピーガス事業組合の組合員6人が参加。市長に目録を手渡しました。

この寄贈は、今年で30周年を迎える同組合が、社会貢献活動の一環として行ったものです。今回寄贈されたのは、最新のビルトインコンロ、ガスオーブン、自立ユニットのそれぞれ7台ずつです。

同組合代表理事の原口陽一さんは「これを機会に、ガスを使っておいしい料理を作ってください」とあいさつしました。



市文化センター調理実習室に整備されました

真幸駅開業100周年

5月7日、真幸駅で、「開業100周年記念式典」が行われました。真幸駅は明治44年5月11日に開業しました。式典には、市内外から約200人が参加。開業100周年を祝いました。

式典では、駅に到着した「いさぶろう・しんぺい号」を加久藤中学校吹奏楽部の演奏で出迎えました。また会場では、農産物や加工品の販売なども行われ、多くの人でにぎわっていました。

市内から参加の児玉博幸さんは「3年前大阪から帰って来ました。列車で大阪まで行っていった頃を思い出しました」と話していました。



出発を手を振って笑顔で見送りました

【おわびと訂正】広報えびの4月号まちのわだいの「市制50周年に開封」に誤りがありました。山内地区29人が参加とありましたが、正しくは、29世帯が参加です。おわびして訂正します。

information

お知らせ コーナー

農業委員会委員選挙が行われます

7月26日で任期満了の農業委員会委員選挙を下記のとおり行います。
【選挙期日】 7月10日(日)
【告示日】 7月3日(日)
【選挙すべき委員の数】 13人
☎市選挙管理委員会事務局
 内線 421・422

農業委員会委員選挙立候補手続等の説明会を行います

7月10日(日)に行われる農業委員会委員選挙の立候補手続等説明会を下記のとおり行います。
【期日】 6月8日(水)
【時間】 午前10時～
【場所】 市役所1階別棟1-3、4会議室
☎市選挙管理委員会事務局
 内線 421・422

第5次えびの市行政改革大綱(案)に対する意見募集

「行政刷新! 真の住民自治を目指して」をスローガンとして、第5次えびの市行政改革大綱を策定します。そこで以下のとおり大綱(案)を公表し、市民の皆さんの意見を募集します。
【意見公募の期間】
 5月11日(水)～6月9日(木)
【閲覧場所】
 ①えびの市公式ホームページ
<http://www.city.ebino.lg.jp/>
 ②えびの市役所財政課、飯野出

張所、真幸出張所
 ③えびの市民図書館
【意見の提出先と提出方法】
 ①郵送またはFAXでの提出
 閲覧場所に「意見・情報提出書」を備えています。
 ②電子メールで提出
 [メールアドレス] zaisei@city.ebino.lg.jp
 「意見・情報提出書」の様式に沿って必要事項をお送りください。添付ファイルは使用しないでください。
 ③市財政課に直接書面で提出
 閲覧場所に「意見・情報提出書」を備えています。市公式ホームページからも様式をダウンロードできます。
 ※詳しいことは、市財政課行政経営係までお問い合わせください。
☎市財政課行政経営係
 内線 381

お済みですか。転作の手続き

平成23年度の農業者戸別所得補償制度(転作)の受付を5月10日まで行いました。受付期間内に手続きを行っていない方は、下記の期日までに受け付けを行ってください。受け付けを行わないと交付金の対象外となりますのでご注意ください。
【受付期限】 6月15日(水)
 ※転作計画書の変更等含まます
【場所】 市畜産農林課農産園芸係
 ※必ず転作計画書・通帳・通帳印を持参してください。
☎市畜産農林課農産園芸係
 内線 224

平成23年度大学等就職説明会開催

宮崎労働局では、平成24年3月大学等卒業予定者および概

ね3年以内の既卒者を対象に、就職面接会を下記のとおり開催します。
【期日】 6月3日(金)
【時間】 受付開始: 午後0時30分～
 面接開始: 午後1時～午後4時30分
【場所】 フェニックス・シーガイア・リゾートワールドコンベンションセンターサミット4Fサミットホール
【参加企業】 来春大学新卒者などを採用予定の県内企業約100社
 ※参加企業一覧は、宮崎労働局ホームページ(<http://www.miyazaki.plb.go.jp/>)をご覧ください(5月以降随時公開いたします)。
【参加料】 無料
 ※面接には履歴書が必要です。必要枚数(コピー可)をご準備のうえ、ご自由に参加ください。
☎宮崎労働局職業安定課
 ☎ 0985 - 38 - 8823

6月1日は人権擁護委員の日です

人権擁護委員は、あなたの相談相手です。地域の皆さんの身近な相談相手として、人権相談を受け、問題解決のお手伝いや、人権侵害による被害者の救済をします。
 人権擁護委員は、法務大臣の委嘱を受け、無報酬で活動しています。
 ◎市の人権擁護委員の方々
 [飯野地区] 原口陽一さん、市後崎ユキミさん [上江地区] 東光鈴枝さん [加久藤地区] 山形茂樹さん、郡山優子さん [真幸地区] 森永時紀さん、伊作真由美さん
 ◎特設人権相談
【期日】 毎月第1水曜日

【場所】 市役所2-1会議室(7月は1-3・4会議室)
【時間】 午前10時～午後3時
 ※相談内容については、秘密を守ります。相談は無料です。お気軽にご相談ください。
☎市総務課人権啓発室
 内線 350

えびの市観光審議会委員を公募します

市では、「えびの市観光審議会条例」に基づく審議会委員を募集しています。
【応募資格】 えびの市に居住する20歳以上の方で、市の観光に関心と意欲を持っている方
【応募期間】 5月20日～5月31日
【応募方法】 申込書に必要事項を記入の上、市観光工商課観光係まで郵送またはメールで提出
【郵送先】 〒889-4292 えびの市大字栗下1292番地 市役所観光工商課観光係宛
【メールアドレス】 kankoshoko@city.ebino.lg.jp

なお、申込書は市観光工商課、飯野、真幸出張所にもあります。市ホームページ(<http://www.city.ebino.lg.jp/>)からもダウンロードできます。
 詳しい内容については市観光工商課観光係までお問い合わせください。
☎市観光工商課観光係
 内線 331・332

「第22回歯と健康・みんなの集い」を開催します

小林えびの西諸歯科医師会では、「第22回歯と健康・みんなの集い」を行います。市民の皆さんのたくさんの参加をお待ちしています。
【期日】 6月11日(土)
【時間】 午後2時～午後4時
【会場】 小林市保健センター(☎23-0323)
【内容】 歯の衛生週間、図画・ポスター・標語コンクール応募作品の展示、フッ化物無料塗布、歯みがき指導、口の健康相談など

☎市健康保険課市民健康係
 内線 281

「感動が地域を元気にする」地域活性化フォーラム開催

「感動が地域を元気にする」地域活性化フォーラムが下記日程で行われます。市民の皆さんの参加をお待ちしています。
【期日】 6月25日(土)
【時間】 午後2時45分～午後4時55分(午後2時30分開場)
【内容】
 [第1部] プレゼンテーション「霧島ジオパークの魅力と課題」
 [第2部] 地域活性化フォーラム「感動が地域を元気にする」
 ○講師: 豊重哲郎氏(鹿児島県鹿屋市柳谷自治公民館館長)
【場所】 えびの市文化センター
【参加料】 無料
 詳しい内容等については公益社団法人日本青年会議所九州地区宮崎ブロック協議会までお問い合わせください。
☎(社)宮崎青年会議所事務局
 ☎ 0985 - 28 - 2522

119 だより



火災予防に心がけましょう

これから農繁期に入り、田植えの準備などで家を留守にすることが多くなります。出かける前に、火の始末(台所・仏壇)などを確認するように心がけましょう。

農作業には十分気をつけてください

作業の慣れからトラクターなどの農業機械の事故が多く発生しています。農業機械を使用する時は、転倒事故・巻き込み事故などに十分気を付けて作業をしてください。

4月の活動状況 [えびの消防署管内]	火災	2件	年計	7件
	救急	62件	年計	254件

■えびの消防署 ☎ 33 - 6119

110 だより



自転車利用者の交通事故防止

えびの市では、本年4月までに36件の人身交通事故が発生しています。その内6件が自転車の事故です。原因は、交差点での自転車の左右折時と交差点での出会い頭となっています。
 自転車も「てげてげ運動追放運動」で次の5則を守り、えびの市から自転車事故を追放しましょう。
 ○自転車は、車道が原則、歩道は例外
 ○車道は、左側を通行
 ○歩道は歩行者優先で、車道寄りを徐行
 ○安全ルールを守る
 ・飲酒運転、二人乗り、並進の禁止など
 ○子どもはヘルメットを着用

4月の交通事故 発生状況	人身	10件	本年 4月末	36件
	物件	22件	本年 4月末	102件

■えびの警察署 ☎ 33 - 0110

心の一首一句

【短歌】

大津波すべて失い瓦礫のみ
家無き人に支援の絆を

栗下区 長谷敏通

大災害の中で復興へと前向きに進んで行かれる東日本の方々に、只ただ頭の下がる思いである。絆とは、半分の糸を繋ぎ結ぶこと。

一人の力は小さくとも皆でつなげて大きな輪になることを願うのみ。作者の心やさしさの滲み出た詠である。明日と云う未来の光を信じたい。

(評) 竹下妙子

【俳句】

震災の海にひねもす春の風

中島区 石坂伊佐郎

先の東北大地震による津波の被害は余りにも甚大で、自然の怖さを再認識しました。しかし、今は春風が吹き、終日ゆったりとした自然豊かな海の情景です。まだ厳しい現実が続いていますが、暖かい希望の風を祈ります。

(自註)

【詩】

空天に散る

「これから生きねばならぬ
わが孫の 悲しみに似て

岡松区 上村次郎

同感と同時に 衝撃を受けた
命の流れは 誕生は喜びであるが
新生児にとっては 苦悩の始まりである
生き代わり 立ち代わりして
連綿と続く 生命を見詰める
私の願望は 不安不幸なく心豊かに
貧しくても清貧に

柳沢佳子

「起きて半畳 寝て一畳」
集めたものは あの時までもって行けない
資産 免許証 学位 地位 家族
冬芽の硬さに 思いをよせて
生まれれるも 去るも一人旅
一発の花火のように 空天に散る

あなたもつくってみませんか。

(短歌) 竹下妙子さん ☎ 0984 - 37 - 3056

(俳句) 松山良文さん ☎ 0984 - 33 - 4904

(詩) ポエム同好会 (市田寛幸さん) ☎ 0984 - 37 - 2528 まで。

ありますか、好きだと言える一冊が。

おすすめの 一冊



『インディアン・サマー騒動記』

沢村浩輔 / 著
(東京創元社)

大学生・佐倉の友人八木の部屋から1枚の絨毯が盗まれた。絨毯は、家具やベッドの下に敷いてあり、犯人は、ベッドで眠っている八木を起こすことなく、絨毯を持ち去ったらしい。

なぜ、犯人は絨毯だけを盗んだのか。それは、彼らが生まれ育った「海霧の町」と大きく関係していた。「空飛ぶ絨毯」より7つの謎と驚きに出会える連作短編集です。

BOOK CORNER

■推薦：市民図書館

Editor's

◎編集後記

5月に入り、夏に向け少しずつ暑くなってきました。季節の変わり目です。体調管理には十分気をつけようと思います。

広報紙にも掲載スペースに限りがありますので、取材に行ってもやむを得ず掲載できない場合がありますのでご了承ください。(川野)

◎えびの市の人口

男性 / 10,154人 (+286人)	転入 / 480人
女性 / 11,281人 (+39人)	転出 / 136人
合計 / 21,435人 (+325人)	出生 / 15人
	死亡 / 34人

◎えびの市の世帯数

9,548世帯 (+496世帯)

(平成23年5月1日現在)

【おわびと訂正】 広報えびの4月号「えびの市の人口」で女性11,373人、合計21,361人、出生113人、死亡335人と記載していましたが正しくは、女性11,242人、合計21,110人、出生13人、死亡35人です。おわびして訂正します。

今月の納税

軽自動車税 全期

5月31日までに納めましょう。



いきいき!健康

Let's Lead A Healthy Life!

お腹をすかせて食べていますか

■中原栄養士 (健康保険課)

「食事がおいしいのはどんな時ですか？」市民の方が集まる場で尋ねることがあります。すると市民の方からは「体を動かした時」「ごちそうの時」など、さまざまな意見が返ってきます。中でも一番多いのは「お腹がすいた時」という方です。当たり前のことのようにみえますが、みなさんは、食事の前にお腹がすいて食べていますか？

お腹をすかせて食べると、おいしく食べられることはもちろん、体にとっても良いことが分かっています。「お腹がすく」ということは、前に食べた物が消化され、胃や腸がひとまず仕事を終えた状態です。胃腸にとっては休息时间ということになります。つまり、食事の前に「お腹がすく」ということはその前の食事や間食が適量・腹八分だった証にもなります。また、休息がとれた胃腸は次の仕事(食べ物の消化・栄

養の吸収)を元気に行うことができます。このことは結果として生活習慣病予防の一つ「食べ過ぎない」を実践していることにもつながります。

逆に、お腹がすく時間がないという方は、食べ過ぎの状態が続くことで、あらゆる生活習慣病になりやすくなります。このような方は食事や間食の量を減らすこと、日常生活や農作業でこまめに体を動かすこと、運動を取り入れるなどできることから始めて「お腹がすく」生活を目指してみましょう。

市では健康増進計画「元気に笑って健康えびの」の目標に「空腹を実感できる」を掲げ、「腹ペコキャンペーン」を推進しています。おいしく食べられ体にいい「腹ペコ」を、ぜひみなさんも実践してみませんか。

※糖尿病の方は、医師の指示に従ってください。

くらしのメモ

「そんなときは、すぐ相談」

不安になったら、一人で悩まないで、すぐ相談してください。

日々の暮らしの中で消費生活に関する事で、思わぬトラブルに巻き込まれることがあります。

より良い消費生活を送るために悩み事がありましたら、お気軽に相談ください。

消費生活に関する情報などを提供します。

【トラブルを防ぐために】

- ・うまい話には近づかないようにしましょう。
- ・必要でなければ、勇気を持って断りましょう。
- ・買う前に、家族や知人に相談しましょう。
- ・印鑑は契約内容を確認してから自分で押ししましょう。
- ・困ったらすぐに信頼できる人などに相談しましょう。

賢い消費者の輪を広げようというのが「くらしのアドバイザー制度」です。今年度の暮らしのアドバイザーは次の方々です。よろしくお願ひします。



中堀ふじ子さん、杉元美知子さん、向原紀子さん

ふるさと散歩

Furusato-sanpo

151

新燃岳噴火の歴史



噴火する新燃岳（2月6日、韓国岳から撮影）

平成二十三年一月二十六日、新燃岳が噴火し、噴煙の高さは火口から約二千メートルまで達しました。いつもは静かな霧島山を眺めている市民も、空高く噴き上がる煙に驚き、身近で起こった火山活動に少なからず恐怖を感じたようです。

翌二十七日も中規模の爆発的な噴火が起き、高原町では火口近くの住民が自主避難しました。その後も何回かの噴火と小康状態を繰り返しており、終息には至っていません。これまでの噴火で、大量の灰が風下の市街地や農地に降ったほか、墳石で車のガラスや太陽熱温水器のパネルが割れるなど被害が出ました。

今回の噴火は地下のマグマが噴き出す「マグマ噴火」です。約三百年前の江戸時代以来の本格的な噴火です。当時の享保噴火（一七六六年三月～一七六七年九月）では、一年半に五回の大噴火があり、高温の火山灰やガスが山の斜面を高速で駆け下りる「火砕流」も起こりました。

天保十四年（一八四三年）に編さんされた「三國名勝図会」には、高原、高崎、小林などでは山林が焼け、神社や民家など約六百軒が焼失、死傷者二十六人、焼死した牛馬四百五頭と記されています。高原町の高崎川では泥流も発生し、魚が死んで流れていたとあります。また、風下の田畑が灰に埋もれました。

今から五十二年前、一九五九年二月十七日に起きた前回の噴火を経験した人も少なくありません。噴火当日は雨で、粘着質の火山灰が付いて飛べなくなつたツグミなどの野鳥を追いかけて回した記憶を語る人もいます。ベタバタした粘つこい火山灰のことを「ヨナ」と呼んだそうです。

今のところ、えびの市内では目立った火山灰の影響がないため、噴火が始まった頃に比べて市民にも慣れが見られ、関心も薄れつつあります。しかし、今後も噴火の規模と季節による風向き次第では、降灰と墳石による被害を警戒する必要があります。（文）市歴史民俗資料館

【おわびと訂正】広報えびの4月号の「ふるさと散歩」で「古都線が開通して今年十月一日で百年」とありましたが正しくは、来年十月二日で百年です。おわびして訂正します。